

令和元年郡山市議会 9 月定例会提案理由

(令和元年 9 月 17 日)

令和元年郡山市議会 9 月定例会の提案理由の説明に先立ち、職員の不祥事等について申し上げます。

このたび、本市職員が、職場内におけるセクシュアル・ハラスメント行為を行った事案、及び正当な理由なく公務を放棄する事案が発生しました。ハラスメントは、人権の侵害に当たる重大な行為であり、公務放棄とともに、いずれも地方公務員法第33条に規定する「信用失墜行為の禁止」に違反するものであり、ハラスメント防止、服務規律の確保に努めている本市にとって、かかる事態が発生したことは誠に遺憾であります。

対象職員につきましては、郡山市職員分限懲戒審査委員会における審議結果を踏まえ、去る 9 月 11 日に厳正に懲戒処分を行うとともに、全部局長に対し、ハラスメント防止と服務規律の徹底について、改めて訓示したところであります。

次に、事務誤りについて申し上げます。本年 6 月及び 7 月に契約の上下水道局発注「舗装復旧工事」において、設計価格の積算誤りによる契約解除が 3 件、8 月に入札した市発注「道路改良工事」において、落札者の決定誤りにより落札者変更となる事案 1 件が発生いたしました。入札に参加された関係者並びに市民の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

これらの不祥事等や事務処理上のミスに対しましては、更なるコンプライアンス及び服務規律の徹底を図るとともに、チェック体制の強化と事務処理システム運用の改善を図り、市民の皆様の信頼回復に努めてまいります。

次に、SDGs の取り組みについて申し上げます。本年 7 月の「2019 年度 SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業」の選定を受け、「こおりやま広域圏」の各市町村とともに、「健康」をキーワードとした「全世代健康都市圏」を目指し、「経済」、「社会」、「環境」の三側面をつなぐ健康づくりを推進してまいります。

今後は、本市の SDGs に取り組む基本的指針の策定を進め、「誰一人取

り残さない」地域社会の実現を目指してまいります。

なお、本定例会に、圏域住民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ることなどを目的とした「SDGs推進全世代健康都市圏事業」に要する予算を計上しております。

それでは、9月定例会の開会にあたり、当面する市政の課題並びに今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**国の政策動向と令和2年度予算編成**についてであります。

7月31日に閣議了解された令和2年度予算概算要求の基本的方針においては、「新経済・財政再生計画の枠組みの下、引き続き歳出改革に取り組む」としております。一方、「Society 5.0の実現や全世代型社会保障への転換など、真に必要な施策に予算を大胆に重点化する」との方針が示され、8月末には各省庁の概算要求が提出されました。

今後とも、国及び県等の動向を注視し必要な財源の確保を図るとともに、民間資金の積極的な活用、業務カイゼンの更なる推進など、効率的かつ安定した市政運営に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**についてであります。

我が国の経済について、内閣府は8月の月例経済報告において、「景気は、緩やかに回復している」として基調判断を据え置きしております。

また、日銀福島支店は8月の金融経済概況においても、「県内景気は、回復している」としております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の7月の有効求人倍率は1.51倍と高い水準で推移しております。なお、職種別有効求人倍率は、職種間での差が生じておりますので、今後とも、情報の収集、分析、提供に努めてまいります。

次に、**農作物の生育状況**についてであります。

7月は平年よりも気温が低く、日照不足も続いたため、去る7月17日に「郡

山市農作物不順天候対策本部」を設置し、農作物の管理の徹底を図りました。

水稻の生育については良好で、先月東北農政局発表の中通りの作柄概況は「やや良」となっております。

また、野菜、果樹類も平年並みに生育しており、特に梨は8月の天候が回復したため糖度が高く、品質の高い梨の収穫が期待される状況にあります。

今後とも、関係機関及び農業団体等と連携を密にし、農家の生産支援に万全を期してまいります。

続きまして、**当面する市政の課題及び提出議案の概要**について、郡山市まちづくり基本指針の5つの大綱と2つの取組ごとに申し上げます。

はじめに、**大綱Ⅰ「産業・仕事の未来」**についてであります。

去る9月1日、2日に、愛媛県松山市で開催の「G20労働雇用大臣会合」では、根本前厚生労働大臣の議長のもと、高齢化社会に対応した働き方などについて議論が行われ、高齢期でも働ける環境整備などを盛り込んだ共同宣言が採択されました。本市においても、高齢者の働く意欲や職業能力の向上など、持続可能な仕事の未来の創出に努めてまいります。

次に、エッセン市との交流については、本年7月に「欧州連合（EU）国際都市間協力プロジェクト」が期間満了となりましたが、今後も相互連携を深めていくため、トーマス・クーフェン市長をはじめエッセン市の皆様方が今月2日に来郡され、「都市間協力の継続に関する合意書」を取り交したところであります。今後も、本合意書に基づき、再生可能エネルギー及び医療機器関連産業における連携を継続するとともに、新たに合意した教育と次世代の人材育成に関する交流を推進してまいります。

次に、農業用ため池の防災・減災についてであります。昨年7月の西日本豪雨による甚大な被害を受け、同年11月に国が示した選定基準の見直しにより、新たに防災重点ため池に選定された市内61箇所のため池ハザードマップ作成に要する予算を計上しております。

次に、総合地方卸売市場超低温冷凍設備については、2002年の設置から17年が経過し、経年劣化等により、外気温度上昇の際の正常稼動に支障をきたす状況が生じたため、省エネルギーや環境に配慮した機器への更新に要する

予算を計上しております。

次に、**大綱Ⅱ「交流・観光の未来」**についてであります。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックについては、来年 3 月 28 日に本市を通過する聖火リレーや同年 7 月から開催の競技大会に向け、関連事業等の実効性を高め、更なる機運の醸成を図るため、来月設立予定の「(仮称) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市実行委員会」に対する予算を計上しております。

次に、**大綱Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」**についてであります。

「幼児教育・保育の無償化」については、本年 10 月 1 日のスタートに向け、円滑に新制度に移行できるよう、幼稚園や保育施設等関係者の御協力をいただきながら、無償化の対象となる方の認定作業や対象施設の確認作業を行っているところであります。なお、幼稚園を利用する低所得者の負担軽減を図るため、国の制度を活用した副食費の減免に要する予算を計上しております。

次に、教育環境の整備についてであります。昨年 10 月、「郡山市田村町二瀬管内小・中学校の統合を考える会」から統合に関する要望書が提出され、保護者及び地区住民の皆様の意向確認と説明会を実施してまいりました。児童生徒が、一定規模集団の学習環境で「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、田母神・栃山神小学校は谷田川小学校へ、二瀬中学校は守山中学校へ統合することが必要であるとの理解を得たところであります。中田地区の御館小学校下枝分校については、2017 年度から休校としており、来年度以降も新入児童の見込みがない状況であります。このため、本定例会に田母神小学校、栃山神小学校、二瀬中学校及び御館小学校下枝分校について、来年 3 月 31 日をもって廃校とする条例改正議案を提出しております。

また、教育研修センターについては、旧三町目小学校を活用し、2020 年度からの新学習指導要領への対応や ICT 教育の拠点機能を備えた研修施設として、去る 9 月 1 日に移転開所いたしました。

次に、**大綱Ⅳ「誰もが地域で輝く未来」**についてであります。

高齢者施設の防災・減災対策については、過去の災害を教訓に喫緊の課題

と捉え、利用者等の安全・安心を確保するため、避難経路の整備や大規模停電に備える非常用自家発電設備の設置支援に要する予算を計上しております。

次に、各種全国大会の開催についてであります。10月17日、18日の2日間、ビッグパレットふくしまをはじめ、市内各会場で「第88回全国民生委員児童委員大会福島大会」が行われます。全国からおよそ3,000人の民生委員児童委員が集まり、テーマごとに活動交流集会やシンポジウムが開催される予定となっております。

また、11月2日には、「第40回全国歯科保健大会」がビッグパレットふくしまで開催されます。全国各地から多くの歯科保健関係者が参加し、健康長寿の延伸と歯科口腔保健の充実について広く発信することとしております。

スポーツの振興については、来年4月開催予定の第27回郡山シティーマラソン大会の事前準備予算及び開催負担金に係る債務負担行為予算を提出しております。

次に、**大綱Ⅴ「暮らしやすいまちの未来」**についてであります。

東日本大震災をはじめ、先月の九州北部大雨被害に続き、台風15号による千葉県内の大規模停電など自然災害が多発する中、消防団のより効果的な救助活動に資するため、国の消防団設備整備費補助金を活用し、エンジンカッター、チェーンソー等、各種救助用資機材を15地区隊、全52分団を対象に配備する予算を計上しております。

都市計画道路笹川大善寺線については、一昨日、笹川一丁目地内から田村町大善寺地内までの全長2.36キロメートルについて、暫定2車線で供用を開始いたしました。この開通により、広域的な幹線道路ネットワークが形成され、国道49号のバイパス機能として、慢性的交通渋滞の解消やこおりやま広域圏の産業経済や文化振興、観光の活性化等にも繋がるものと期待しております。

道路等の整備については、安全・安心で快適な生活環境を維持するため、道路舗装の補修や水路側溝の改善等に要する予算を追加計上しております。

また、河川改修事業については、日本大学工学部構内を流れる準用河川徳定川の流量調整を行う排水樋門接続工事のほか、災害発生の予防と被害軽減を図るため、国新設の有利な財政措置である「緊急自然災害防止対策事業債」

を活用し、普通河川改修に要する予算を計上しております。

新エネルギー普及促進事業については、災害対応と環境負荷への配慮を同時に解決するため、指定避難所に再生可能エネルギー設備を有してない湖南地区において、最も規模の大きい避難所である湖南小中学校への、太陽光発電及び蓄電池等導入の実施設計に要する予算を計上しております。

次に、「**横断的取組**」についてであります。

一般住宅等からの除去土壌等搬出事業については、昨年12月に発注しました並木地区等17地区の作業が今月末に終了する見込みであります。

また、本年7月に発注した郡山駅前地区等15地区については、8月中旬から順次、作業に着手したところであり、来年5月末の完了予定であります。

次に、ため池放射性物質対策については、昨年度から実施している善宝池など、市街地にあるため池5箇所について、年度内の完了を目指してまいります。また、本年度着手予定の市街地以外にある待池など20箇所についても、順次、池底土壌等のしゅん濇作業に着手してまいります。

次に、内部被ばく検査については、本年8月末までに延べ17万7,549人の方々の検査を実施し、その結果は、生涯に受ける放射線量が全員1ミリシーベルト未満でありました。今後も引き続き検査を実施し、市民の健康管理に資してまいります。

次に、「**基盤的取組**」についてであります。

こおりやま広域連携中枢都市圏については、本年1月、二本松市長から本圏域への参加意向をいただき、2月からは、連携推進協議会に参加していただくなど、連携に向けた事前協議が整ったところであり、本定例会には、本市と二本松市との連携協約締結に関する協議についての議案を提出しております。

以上が提出議案等の概要であり、この結果、**一般会計補正予算議案**は、30億4,823万円の増額、累計では、1,436億4,859万3千円、前年度同期に比較し、4.0パーセントの増となります。

次に、**特別会計補正予算議案**についてであります。前年度繰越金の確定に伴う経費を計上する国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など、17の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、8億1,972万9千円の増額となり、累計では、982億6,867万6千円、前年度同期に比較し、1.8パーセントの増となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正額の合計額は、38億6,795万9千円の増額となり、累計額は、2,419億1,726万9千円で、前年度同期に比較し、3.1パーセントの増となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市行政センター設置条例の一部を改正する条例」など条例議案13件、財産の取得議案などその他の議案6件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます、提案理由といたします。

なお、本会期中に平成30年度の各会計歳入歳出決算認定議案、並びに人事案件を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。

以 上